

2月26日

公契約条例

神戸経済の活性化のために  
積極的に制定を  
行財政局審査で松本のり子議員



質問する松本のり子議員

公契約条例は、自治体が発注する工事等において発注業者と労働者や下請業者の契約に条件をつけるもので、自治体発

## 予算特別委員会審査から①

1. 公契約条例について
2. 公務労働の正規雇用について
3. 施設使用料の値上げについて

質疑項目

注業務の「官製ワーキングプア」をなくすことが目的です。公契約条例の制定は、今年4月に施行する熊本市を含め政令市では現在4都市まで進んでいます。しかし、神戸市は国の労働行政の分野であるとして条例制定は必要ないという立場です。松本議員は、市が公共事業に従事する下請業者も含めた労働者の賃金・労働条件の保障を守らせるために神戸市でも公契約条例を制定すべきと求めました。

### 答弁ダイジェスト

松本議員：条例制定で中小企業の賃金

が上昇する効果があるとして制定を決めたのが熊本市だ。

**安居副局長：**熊本市の公契約条例の制定の効果として賃金が上がっているということが書かれていたが、具体的なエビデンスはない。賃金は国が労務単価を設定してから上がっている。

**松本議員：**(元請の) 賃金が上がっても下請や孫請まできちんと賃金が支払われているかを調べることはできない。また、指定管理施設で働く地域図書館司書や給食調理師などの(専門職の) 方が最賃でよいのか。

**安居副局長：**指定管理料は労務単価の上昇や物価高騰の状況を踏まえて予算に計上している。

**松本議員：**仕事に応じた適正な賃金が支払われるためにも公契約条例は必要不可欠だ。

2月26日

しあわせの村リニューアル

理念つらぬき、市民・利用者の  
声を反映したものに  
福祉局審査で朝倉えつ子議員



質問する朝倉えつ子議員

しあわせの村は、市民福祉の総合的推

1. しあわせの村のリニューアルについて
2. ケア労働者の人員確保、賃上げ施策について
3. 国民健康保険料の引下げについて

質疑項目

進を図ることを理念としています。村のリニューアルにともない、不動産会社なども参加するサウンディング調査がおこなわれましたが、民間企業の参加が村の理念を薄めることにならないか懸念されます。朝倉議員はサウンディング事業者にも村の理念に立った提案を求めるべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

朝倉議員：サウンディング調査参加事業者からの質問で「商業施設誘致」や「施設分離、施設売却等の検討」につい

て、市は「あらゆる可能性を排除しない」と回答した。施設売却も提案があれば検討するのか。

**小園副局長：**あくまでもサウンディング調査は意見・アイデア公募の段階で全て採用するわけではない。

**朝倉議員：**タンポポの家と保養センターひよどりは、今まで通り受け入れながらの検討がなぜできないのか。

**小園副局長：**暫定的に運営の効率化という観点で休止をした。今後の方向性を決定したものではない。

**朝倉議員：**市民や利用者の声を聞くべきだ。市バス路線120系統や66系統(しあわせの村行き)の廃止・減便が提案されているが、局として交通局に意見言うべき。しあわせの村をもっと多くの皆さんに利用していただく方向で充実をすすめるべき。施設廃止も前提とするリニューアル計画には反対だ。

ぜひ傍聴にお越しください

## 森田たき子議員が一般質問

日時 3月27日(金) 14時10分頃から 場所 市議会本会議場

議会の進行状況によって大きくずれ込む場合がありますのでご注意ください

インターネット  
中継のご視聴は  
こちらから



2月27日

神戸市立外国語大学

## 歴史と伝統を発信し、さらなる発展を

企画調整局審査で森本真議員



質問する森本真議員

神戸市立外国語大学（以下「外大」）は、終戦直後の1946年に国際的な人材を育成しようと設立されました。先日の代

1. 神戸市立外国語大学の今後のあり方について
2. 神戸2030ビジョンについて
3. 防災の取り組み強化について—震災の経験の継承
4. 良質なまちの佇まいの創出について

質疑項目

表質疑で市長は、卒業生の市内就職率が最低水準だなどとし、抜本的改革のために今後のあり方を審議する附属機関を設置すると答弁しました。森本議員は、あり方の検討ではなく80年の歴史と伝統を受け継ぎ、外大が果たしてきた成果や役割を踏まえて発展させるよう取り組むべきと求めました。

### 答弁ダイジェスト

**森本議員：**市長は70周年の学長との座談会で「必ずしも神戸の大学を卒業したのだから、神戸で活躍してほしいというわけではありません」と言っている。なぜ市内就職率が悪いからと、あり方を検

討しなければならないのか。多くの優秀な人材を輩出しているではないか。

**中野部長：**市内や近隣都市に20を超える外国語・国際系の学部がある。公立大学としての意義・役割を抜本的に再検討すべき時期だ。

**森本議員：**抜本的とは何か。大学を解体するのか。

**中野部長：**特に結論があるということではない。

**森本議員：**教育委員会や博物館との連携や地域貢献など、きちんと役割を果たしているではないか。知られていないことが一部の要因になっているのではないか。市民に発信すべきだ。

**中野部長：**外大のホームページで発信している。

**森本議員：**外大の役割は、これまでの歴史と伝統ではっきりしている。国際的な人材を育成し、発展させるよう取り組むべきだ。

2月27日

## 子育て応援、物価高騰対策のためにも高校卒業まで医療費無料化を こども家庭局審査で西ただす議員



質問する西ただす議員

1. こども医療費の無料化について
2. 公立保育所の入所枠の縮小について
3. 保育士の配置基準の改善について
4. 高校生等通学定期補助制度の拡充について

質疑項目

こども医療費の無料化は市民の粘り強い運動をうけ、日本共産党神戸市議員団が議会で何度も追及し、制度を拡充させてきました。現在、神戸市のこども医療費は窓口負担（月額400円）があり、完全無料は2歳児までです。兵庫県41市町のうち他の40市町ではすべて中学校卒業まで医療費を無料化しています。西議員は、物価高で苦しんでいる子育て世帯の経済的負担を減らすため、高校までの医療費の無料化を早急に進めるよう求めました。

### 答弁ダイジェスト

**中山局長：**こども医療費は制度を維持していくため一定の負担をお願いしている。併せて、制度は本来国が取り組むべきであり、国策として制度を確立するよう、国に対しても要望していく。

**西議員：**それだけでは足りない。現在、どの政令市が実施しており、来年度以降の実施が決まっているのか。

**中山局長：**現在、政令市で所得制限なしに高校3年生までの無料化は、名古屋とさいたま市の2市だ。また、仙台市は今年の4月から、横浜市と川崎市も今年度から高校生まで無料化を拡大する。

**西議員：**物価高対策、福祉の向上という観点で神戸市でも実施すべきだ。

3月2日

地球温暖化防止計画

## 国任せにせず野心的なCO<sub>2</sub>削減目標を 環境局審査で味口としゆき議員



質問する味口としゆき議員

1. CO<sub>2</sub>削減 神鋼火力発電所について
2. リデュースの施策について
3. 製品プラスチックの分別回収について
4. クリーンセンター体制について

質疑項目

気候危機の要因とされている温室効果ガスの削減は喫緊の課題です。神戸市でもCO<sub>2</sub>の削減を掲げた計画を策定していますが、市の目標は2013年度比で2030年に60%削減にするという、国際水準であるIPCC（地球温暖化についての科学的な研究をしている政府間機構）が示す目標より低くなっています。さらに、神戸市域よりも多くのCO<sub>2</sub>を排出させ続けている神戸製鋼の石炭火力発電所についての言及はしていません。環境局として神戸製鋼に対して何も指摘しないことは無責任です。味口議員は、神戸市は自

らの削減目標を達成すべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**味口議員：**IPCCよりも低い目標でよいのか。

**三河副局長：**石炭火力発電をはじめとする電源政策は、国レベルで議論されるものだ。（市の目標は）国の削減目標に整合させて設定している。目標数値は立てているが、CO<sub>2</sub>削減は市民・事業者・行政がそれぞれ取り組んでいくものだ。

**味口議員：**国際水準より低い目標でさえも今のままでは達成できない。市が主体的に実施できる施策による削減をより一層上積みすることが必要不可欠だ。